

HADANO MEISUI ROTARY CLUB WEEKLY

例会場 秦野市平沢 2550-1 秦野商工会議所内 TEL(0463)81-1355

事務所 秦野市平沢 2550-1 秦野商工会議所内 TEL(0463)81-1355

例会日 毎週木曜日 12時30分～13時30分

会長 米山君夫 幹事 梅原正美 会報委員長 北村まり子



世界へのプレゼントになろう

2015年～2016年度国際ロータリー会長
K.R. ラビンドラン

第1477例会 2016年1月14(木)(晴)

司会 前 肇副幹事

点鐘 原 郁夫副会長

合唱 「我等の生業」(山谷洋子さん)

祝結婚記念日 諸星(道)君(1/20)

祝誕生記念日 <奥様・ご主人>河野君(1/20) 加藤君(1/23)

祝創業記念日 神崎君(1/15)

会長の時間



○ 皆様今年も宜しくお願ひ致します。今日は米山会長が身内の御不幸で欠席です。副会長の私が少しお話しさせていただきます。

昨年一年間は色々ありました。まず、両親を相次いで亡くしました。そして12/25のクリスマスの日には畑に停めておいた軽トラックが盗まれてしまいました。

た。軽トラックと言っても四輪駆動、エアコン付きで新車でした。残ったのは4年のローンだけです。近隣の農家も農機具を盗まれている家があります。被害届を出しても警察はなかなか来てくれません。12/28には書類が出来ていると思い警察に行ったら、年末の休日に入っていると言われてしまいました。伊勢原でも多くの軽トラが盗まれているそうです。車もカギはきちんとかけましょう。お正月に入ってから倉庫が物色されていました。皆様も気をつけましょう。R財団への寄付、私は地区でポール・ハリス・ソサエティコーディネーターを仰せつかっていますので、皆様の御協力宜しくお願ひ致します。また、米山奨学へもご協力下さい。

○ ガバナー事務所より

1、地区補助金説明会のご案内

第二回「地区補助金説明会」

日時 1/23(土) 14:00～17:00

場所 第一相澤ビル6F

(但し人数が多くなった場合はシクロス湘南に変更)

第三回「地区補助金説明会」

日時 2/9(火) 16:00～18:00

場所 第一相澤ビル6F

(但し人数が多くなった場合はシクロス湘南に変更)

2、国際ロータリー第2780地区ローターアクト第27回地区年次大会のご案内

日程 2/14(日)

時間 13:30～ 登録受付開始

14:00～ 開会式

会員数	37名
出席数	27名
出席率	75.00%
前々回の修正	休会

メークアップ	
--------	--

本日のプログラム	1月21日 ○ 秦野3クラブ合同新年会 点鐘 18:30 於 秦野商工会議所
----------	---

次週のプログラム	1月28日 ○ 半期会計報告
----------	-------------------

15:00～ メインプログラム「鎌人(かまん
ど)と巡る旅」

16:45～ 閉会式

17:30～ 懇親会(19:00終了予定)

※スタッフの人員の都合上、公式の二次会は開催しません。

開催場所 鎌倉プリンスホテル

登録料 ロータリアン 8,000円

ローターアクト 6,000円

ビジター、新世代プログラム 1,000円

(懇親会はお酒の席になりますので、インターアクト
の方のご参加はご遠慮ください)

登録振込締切 1/31(日)

理事会報告

- 秦野市少年野球連盟及び秦野警察署「武道始式」賀詞
交歓会会費について

秦野市少年野球連盟賀詞交歓会は、梅原幹事出席、交際
費より10,000円ご祝儀とする。 →承認

秦野警察署「武道始式」は米山会長出席、交際費より
5,000円会費として支出する。 →承認

- 地区大会実行委員会委員派遣について

派遣者は、古谷スミ子さんで決定。 →承認

- 2月行事予定について

2/20(土)国際交流協会設立30周年記念式典出席に
ついては、米山会長が出席。10,000円のご祝儀を国際奉
仕委員会より支出する。 →承認

- 1/18(月)、中学生英語スピーチコンテスト(第三回
実行委員会の開催について)

中島賢治さんが参加予定→都合により欠席 →承認

- 3/12(土)、IMテーマ「観光資源を考える」で社会
奉仕委員会委員長山本裕宣さんに発表して頂く。

※湧水地2カ所に募金箱設置予定(秦野市と協議の上)

→承認

幹事報告

[受付文書]

- ロータリー米山記念奨学会より 2015年度下半期
普通寄付金のお願い

[例会変更] 寒川

- 本日配布の週報、次週のプログラム、17:30→1
8:30に訂正して下さい。

スマイル報告

- 原 郁夫君 「本年も宜しくお祝い申し上げます。昨年
のクリスマスに軽トラを盗まれました」

- 梅原正美君 「本日は会長不在なので気合を入れて幹
事を務めます。&小澤さんの卓話を楽しみにしていま
すので!スマイルします」

- 瀬戸 誠君 「誕生日のお祝いありがとうございます」

- 前 肇君 「スマイルします」

- 諸星道治君 「結婚記念お祝いありがとうございます」

- 多田嘉之君 「誕生日祝いありがとうございます」

- 加藤一也君 「妻の誕生日記念ありがとうございます」

- 神崎達朗君 「創業記念のお祝いありがとうございます」

- 高橋幸雄君 「先週の初例会を欠席しました。申し訳あ
りません」

- 古谷スミ子さん 「小澤さんの卓話を楽しみにしてい
ます」

- 桐山晃忠君 「散歩路の“ロウバイ”にスマイル!」

- 小澤 賢君 「本日卓話です。宜しくお願いします」

- 仲野亜津子さん 「急に寒くなり体調崩さないよう気
を付けて過ごしたいですね」

- 吉田久美子さん 「カゼが流行っています。ご自愛くだ
さい」

合計 41,000円

委員会報告

- 古谷スミ子さん

2016~17年度地区大会の委員にクラブより推薦されま
した。地区大会は2016年10月15日(土)・16日(日)です。
皆様のご協力を頂きながら任務を務めたいと思います。

卓話

「職業観について」

小澤 賢君



改めまして、今年もよろしくお祝いいたします。昨年は
例会に出席する機会が少なくなりました。今年では
出来るだけ出席をするように努めますので、今後ともど
うぞよろしくお祝いいたします。本日の卓話は、このよう
な席に慣れない私なものですから、つまらない話しかござ
いませんが、最後までよろしくお願い致します。

お題は「職業観」となっておりますので、まずは簡単
に私の会社の業務内容から説明させていただきます。主たる業
務としては、設備工事業として、いわゆる上下水道、空調
工事といった、工事屋でございます。その中でも、自分が
特に力を入れているところが、業種としては「プラント設
備」という業務であり、工場の生産ラインの構築や、研究、

実験施設の装置製作など、お客さんの白紙状態の計画を、ゼロから一緒にスタートするような、着手までの時間が非常にかかるような業務を主軸にしております。

いまでは、会社のスタイルとして、オンリーワン・差別化というような意識をもって、会社運営をやっているとっておりますが、それは後付けでありまして、はじめのころは、面白そうだけど面倒そうな依頼を、好奇心だけで安請負して、それがたまたま連続して受注に結びついたので、結果、会社実績となったことをいいことに、こっこのほうが自分にむいているなど、主軸をどんどんそちらに移行していったような、安定感のない、どたばた会社でございます。

そのような様子で日々仕事をしておりますと、難解で時間がかかりそうな宿題をもっている方から連絡をもらうようになり、出来上がったものをお客さん他、その業務に携わった人たちとみんなで喜び合うことがたくさんあり、それが会社実績になっている今の現状は、非常にやりがいのある生業となったことで、現状を楽しみながら日々勤んでおります。

そんな中でも、昨年、自分の中でも珍しい業務を何点かやらせて頂きましたので、そちらを紹介したいと思います。

まず、一つ目は、去年の9月ごろ、インドに行ってきました。ムンバイという、インド西海岸側の都市です。こちらにお客様の新工場建設をしておりました。工場は、ガソリンスタンドに置いてある計量器を作っている「タツノ」という会社であり、普段は横浜の工場でお世話になっている計量器メーカーです。渡航前に、新工場は建設が既に完了しており、事務所はすでに稼働状態であり、我々の渡航した理由は、ワーカーの皆さんに、生産ラインに取り付けた検査装置の操作説明が業務内容でした。

これもエンジニアみたいな感じがかっこよくっておりますが、実際のところは、弊社で製作した検査装置の部品であるタッチパネルにリコールがあり、タッチパネルのメーカー交換対応が、中国、タイまでとなっており、それ以上遠くに出荷した案件はうちの購入分だけ。渡航費持つから現地行ってきてほしいと頼まれ、その話をお客さんに説明したところ、じゃあちょうどいいから、工場稼働前のワーカー説明があるから、その時に一緒に手伝ってくれと言われて、しぶしぶ行ってきた次第です。

渡航する決心がついてからは、行くまでの準備に時間がかかりました。出張中の自分の仕事を先に片づけるようにしつつ、終わらないような案件は、帰ってくるまで待ってもらって連絡をして、渡航準備に入りました。

インドはビザ申請が面倒で、これに時間がかかったうえ、狂犬病や肝炎などの予防接種を4週にわたり8本ぐらい注

射させられました。この注射が結構痛いんです。注射した日の夜、忘れてて飲みに行って、ふらふらになった日もありました。そんなドタバタ状態で、作戦も考えずに出たとこ勝負で出かけてきました。

渡航前に、スマートフォンに翻訳アプリというものをに入れておきました。あと、日本にすぐ連絡できるように、LINEというメールアプリを入れて、ホームシックにかからないように準備は万全にしていきました。慣れない私には、短い期間の海外出張も不安でいっぱいです。

日本から出向くエンジニアは、私含めて4人。私だけ英語が全く分かりません。何も耳に入っていないぐらい聞き取れません。今回の件も、なにより嫌だったのが英語が全く分からないこと。行くのはいいけど、役に立ちののだろうかと不安もありました。他の皆さんは、話せなくてもヒヤリング程度は出来る感じです。現地通訳さんは一人。ワーカーさんは30人ぐらい。初日は、これはどうなるのだろうと思っておりました。

さて、現地入りしまして、説明会が開始されました。生産ラインをスタートから順番に説明していくので、私が担当する検査ラインは、すべて組み立てが終わった後の工程であることから、2日間ぐらいは出番なし。ワーカーさんも持ち回りがありますので、私同様、検査担当の人たちは暇そうです。私と一緒に時間をつぶしておりました。ここでスマートフォンに入れた翻訳アプリが見事に活躍し、しゃべれない私もみんなとコミュニケーションが取れ、相手方も、自分のスマートフォンに翻訳アプリを入れて、5、6人で電話を介しての会話。異様な光景でしたが、あれがなかったら、まったく頼りにならないエンジニアさんになるところでした。また、この工場で働いているワーカーさんは皆さん英語が話せるので、何日もいると、何となくお互い会話が聞こえるような感覚になってきました。

3日目から私の出番が回ってきましたが、もうみんなと仲良し状態です。友達みたいになってました。話はそれますが、インドの方って、日本人にくらべてパーソナルエリアが狭いというか、皆さん、ものすごくくっついてくるんです。休日の広い公園で、男友達10人ぐらいが肩を寄せ合って新聞を読んでいるようなイメージです。

そんな感じですから、私が操作しながら説明していると、それこそ頬と頬がくっつくぐらい両側に人がいて、その後ろ側には、私の肩に手を乗せながら、べったり寄り添ってきます。それが10人ぐらい束になってくっついて、工場内は40℃以上あって湿度も高い。さすがに慣れるまでに時間がかかりましたが、そのうちに普通になってしまい、日本に戻ったらみんなに近寄りすぎないように気を付けようと思いました。

あと、食事ですが、工場での昼食はなにしろずっとカ

レー。ホテルの朝食も種類は豊富ですけど基本カレー。ちがうメニューを頼んでも、なぜか全部カレーの味がして、滞在中はそこが一番辛かったと思います。

最終日は、みんなと別れを惜しんで、もう必要ないぐらい熱い抱擁を全員と交わし、ようやく帰ってきました。その時だけは本当に来てよかったと心から思いましたが、もう正直、一日でも早く帰りたかったです。

帰国後、みんなから暖かいメールを頂戴しましたが、感謝しつつも、なにしろ全部英語で、翻訳するのがめんどくさかったことを記憶しております。

年末に新たなインド向け装置の製作依頼があったのと、滞在中も、別の依頼が近々あることを受けておりましたので、また今年も行かなきゃいけないのだろうと思いつつ、そのことは出来るだけ考えないようにしておる今日この頃です。

ここまでがインドに行ったときに話です。

続きまして、だいぶ業務内容が変わるのですが、伊勢原の大山での工事です。

皆さん大山には登ったことがありますでしょうか。ご存知かと思われませんが、あそこには、雨夫利神社という神社がありまして、中腹に「下社」、山頂に「上社」というものがあります。私どもの工事内容としては、簡単に言えば、その下社から上社まで、水道水を供給するという業務です。

この設備は平成元年に整備され、標高差がおおよそ 700m ある道中を配管がつながっております。下社では、このすごい高圧のポンプで圧送しておりますが、上社に着くころにはちょろちょろ程度の水しか出ません。ですが、なかなか山頂まで水が供給されている山は少なく、このちょろちょろを供給するために、冬は - 10 以下になる気温と突風、積雪に対応する凍結対策、夏は水源の沢の水不足による、下社と上社の水量調整など、なかなかどうして難しい通信制御と維持管理が必要な設備です。その上、山頂にある排水処理設備と併用し、処理水を浄化させて、トイレの洗浄水として活用したりと、山にある施設とは思えないデラックス仕様です。ですが、この設備は、設置からおおよそ 30 年近く経っております。やはり昨今の最新設備と比較すると相当古いシステムですし、なにより、倒木や崖崩れによる破損が多く、日々のメンテナンスが欠かせません。

いままでは、この設備を設置した方が面倒を見ておりましたが、もうご高齢ということで、引き継ぎ先を探していたとのこと、同時に依頼がかかった理由として、現在のシステムに不具合が出たけど、もうわからない状況になってしまっているそうで、調査含めて一から改善したいとの要望でした。

これを昨年の初めに声をかけられ、雪解けを待って現地へ赴き、面白そうだという理由だけで、即答で引き継ぎ形をとることになりました。

私は趣味で登山をします。秦野に住んでおりますので、地元丹沢に登るのが特に好きです。その私の趣味を知っているからこそ、この仕事依頼があったのですが、請け負ってみたものの、正直ハードです。これは誰もやらないなとやってみてから納得。同行する作業員も、技術というより、どちらかという健康な人間がチョイスされます。

何をすることも登山が伴いますし、背負子を担いで重い機械や工具を運びます。崖にも下りていきます。雨にも打たれ、風にあおられ、修行みたいな日もありました。無線機でのやり取りで、山頂、下社、途中の崖とかでみんなで別れて作業すると、一人きりになったりもして、熊とかでないかといつも不安です。

そして、昨今の登山ブームにより、登山者が急増し、平成元年に設計されたインフラでは、とても供給が間に合わない状況です。大山の山頂は非常に混雑し、トイレに 1 時間も行列ができていたりするのです。1 時間あれば、下山できちゃうと思いつつ、待ちくたびれた登山客の苦情を受けながら、山頂にて鋭意作業に励んでいる最近でございます。

もう、去年だけで 20 回は登ったと思います。会社の参拝にも昔から出向いていた大山なので、この先のご利益は完璧だと信じて、頑張っけて登っております。

苦勞していると吉報もあり、去年の 6 月、大山は「ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン」という情報誌に掲載され、東京オリンピックに向けて、観光客がさらに増えるであろうと、伊勢原市の観光課の方々も力を入れ始めております。この設備を充実するべく計画を提示しておりますので、この機会に実ればよいなど、関係者の皆さんで期待をしておるところです。また、ここでも、無事成功にたどり着けば、お客さんと携わったみんな喜びを分かち合えると思います。

秦野には素晴らしい山がたくさんあります。塔ノ岳、鍋割山、二の塔、三の塔。休日は、いつも駅のバス停に、たくさんの登山客を見かけます。このような人たちが安心して登山するために、工事の方々がたくさんの苦勞をしながら、階段や足場を作り、維持されているのだと、最近山に登ると、景色というより、そっちゃん気になっております。自分もそのような業務に係われたことを光栄に思っけて、引き続き山の工事に出向いていこうと考えております。